

Before



RAW



JPEG撮影

デジカメの苦手な
紫色を補正する

赤紫色をしたスイレンの花。JPEGで撮影した写真は見た目よりも青っぽく写っている。同時に撮影したRAWデータを調整し、見た目の色合いに近づけたい。また露出もアンダー目になっているため、明るく調整を行っておきたい。さらに、背景に写っている葉の発色も不自然なので、明るく綺麗な色合いにする。

使用するツール

- RAW現像（露光量/色相・彩度・輝度）
- スマートシャープ

STEP

1

暗くなってしまった露出を
適度な明るさに修整する

撮影時に露出を失敗してしまったり、暗くなってしまったりした写真でも、ある程度の明るさであれば簡単に修整できる。RAW現像時に露光量のスライダでカメラの露出補正と同じような感覚で調整するだけでいい。



【露光量】をプラス側に補正して、全体の明るさをアップする。



カメラ キヤノン EOS 5D レンズ タムロン90mmF2.8マクロ モード 絞り優先オート(F3.5)
WB オート 感度 ISO100 +/- -1補正 撮影地 東京都・神代植物園

花

紫色の花を
綺麗な発色にする。

花の写真を撮影する時は、マクロレンズを使って花にグッと近づいて画面いっぱい撮影すること。絞りを開けて撮影することで、柔らかな表現の写真にできる。花にはとても多くの種類があるが、色鮮やかな発色になるように撮影をしたいものだ。

デジカメでは見た目の色合いで写りにくい花もある。特に紫色の花は難しく、赤紫のような色合いが見た目よりも青っぽく写ってしまうことが多い。

綺麗な色合いにしながら、見た目の印象に近い発色になるようにしてみよう。また、花の周囲に緑の葉が写っている場合も、緑色はなかなか綺麗な発色にならない。そんな時は、花だけでなく、背景も調整をする。花の写真では鮮やかな発色が好まれるが、あまり派手になりすぎないように注意しよう。またシャープネスも花のやわらかさが損なわれない程度にする。